

水害や土砂災害から自分の命、 家族の命を守るために確認を!

問い合わせ 防災室 ☎229-3104 📠223-6247

ステップ1 自宅や学校、職場にどんな危険があるのかを知る

- 津市が作成しているハザードマップ等を見て、「河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか」、「土砂災害が起こりやすい場所ではないか」など、自宅や学校・職場などのよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 津市が指定している指定避難所を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。



ハザードマップ等へ

ステップ2 津市から発令される避難情報の種類を確認

重要度が高い

避難準備・
高齢者等
避難開始

避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合

- いつでも避難できるよう準備し、身の危険を感じる人は避難を開始する
- 避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児など)は避難を開始する

避難勧告

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

- 避難場所へ避難する
- 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難する

避難指示
(緊急)

状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

- まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難する
- 外出することで命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難する

ステップ3 もしもの時に備えて、事前に避難方法をチェック

- 大雨などにより、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのみより安全と思われる建物(上階が浸水しない建物、川沿いでない建物など)に移動しましょう。
- 外出すら危険と思われる場合は、建物内のより安全と思われる部屋(上層階の部屋、山からできるだけ離れた部屋)に移動しましょう。



津市では、以下の方法などで避難情報等の伝達を行いますので、ぜひご利用ください。

- 同報系防災行政無線
- 津市防災情報メール
- 津市防災情報メール(多言語版)
- エリアメール・緊急速報メール
- ファクス送信サービス
- 電話応答サービス
- 緊急告知ラジオ



津市防災サイトへ